

令和 7 年度 職場アンケート結果報告書

2025 年 9 月

鹿児島純心大学 進路支援委員会

これまでの経緯

本学の進路支援を充実させるために、卒業生が採用された職場の担当者を対象に、平成19年度から開始したこのアンケートは、今回で6回目となる。平成21年度に「大学教育・学生支援推進事業」（学生支援推進プログラム）補助金を獲得し、就職支援、さらには学生教育改革の資料とするために、平成 19 年度、平成 22 年度、平成27年度、令和 2 年度、令和 5 年度で計 5 回の職場アンケートを実施した。

今年度は 6 回目の実施で、前回と経年比較するため経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき社会人として必要と思われる能力資質について調査した。

方 法

本学の令和 5 年度卒業生 142 名のうち就職した職場 102 件にアンケート依頼文を郵送し、Microsoft Forms を使用し回答を回収した。

（令和 7 年 5 月 16 日依頼文～令和 7 年 8 月 22 日締切）

アンケートの目的

卒業後の就業状況から、本学のディプロマポリシーや学習成果に照らして教育の成果や効果を検証し、教育力の向上や改善に資する。

「調査内容」

- 1 経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等が身についているかどうか 14 項目の評価を 3 段階で依頼した（P17～P19 参照）

結果と分析

1 送付アンケート数	102 件
宛所に尋ねあたらず返送された数	3 件（実質 99 件）
回答総数	46 件
全体回収率	46.5%（≒46/99）

なお、回収率を上げるため、進路支援課公式 LINE で卒業生を通して就職先に呼びかけ 8 件獲得した。

表 - 1 - 集計結果 (全学科合計：数字は回答数)

次の表に掲げる能力・資質は経済産業省が提唱する「社会人基礎力」に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を挙げたものです。本学卒業生の現況に照らして、評価項目の
①身についている②どちらともいえない③身についていない いずれかに○をつけて下さい。

		評価項目		
		①	②	③
1	主体性（物事に進んで取り組む力）	31	15	0
2	働きかける力（他人に働きかけ巻き込む力）	24	19	3
3	実行力（目的を設定し確実に行動する力）	31	14	1
4	課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）	22	21	3
5	計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）	25	19	2
6	創造力（新しい価値を生み出す力）	10	31	5
7	発信力、コミュニケーション力（自分の意見を分かりやすく伝える力）	21	23	2
8	傾聴力（相手の意見を丁寧に聴く力）	40	6	0
9	柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）	36	10	0
10	状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）	24	21	1
11	規律性（社会のルールや人との約束を守る力）	38	8	0
12	ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力）	27	17	2
13	専門的知識力（自らの専門分野の基本的知識を身に付け、問題解決のために応用できる力）	21	22	3
14	チームワーク、リーダーシップ（他社と協調・協働できる。他社に方向性を示し目標実現のため動員できる）	23	18	5

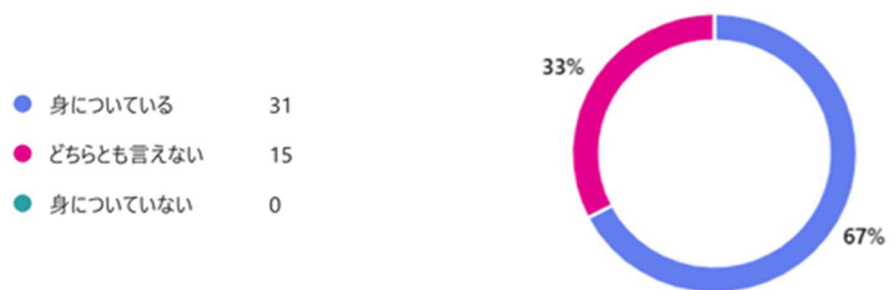
グラフ - 1 - 結果円グラフ（全学科合計：数字は回答数、円グラフは回答数に対する割合）
集計結果をグラフにしたもの。

以下は Microsoft Forms で生成されたグラフで、結果をホームページに掲載の予定。

応答の概要 アクティブ

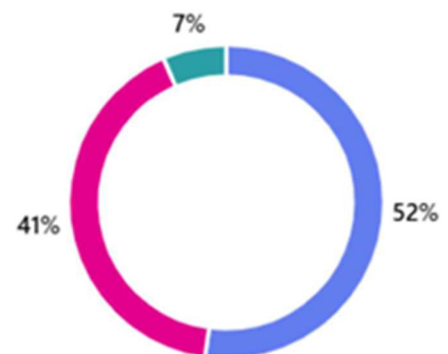


1. 主体性（物事に進んで取り組む力）



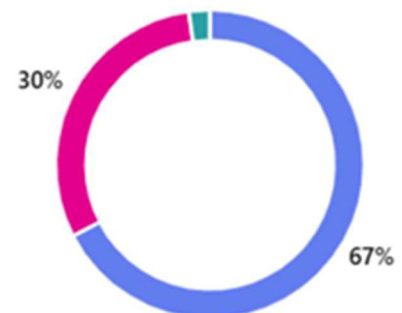
2. 働きかける力（他人に働きかけ巻き込む力）

● 身についている	24
● どちらとも言えない	19
● 身についていない	3



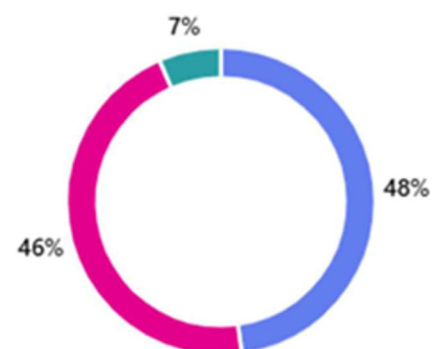
3. 実行力（目的を設定し確実に行動する力）

● 身についている	31
● どちらとも言えない	14
● 身についていない	1



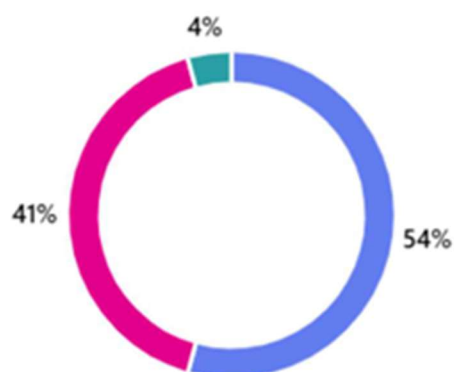
4. 課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）

● 身についている	22
● どちらとも言えない	21
● 身についていない	3



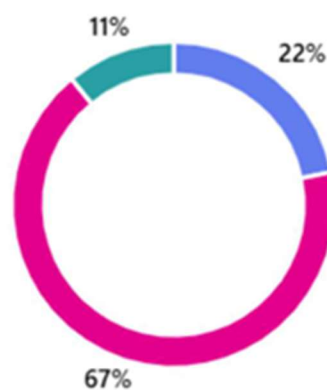
5. 計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）

● 身についている	25
● どちらとも言えない	19
● 身についていない	2



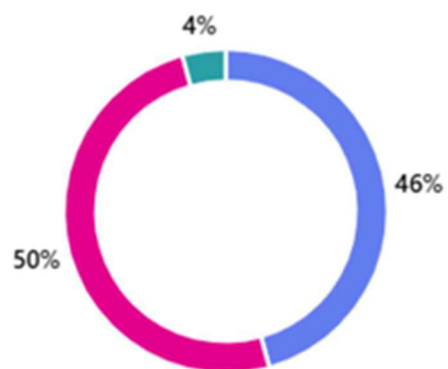
6. 創造力（新しい価値を生み出す力）

● 身についている	10
● どちらとも言えない	31
● 身についていない	5



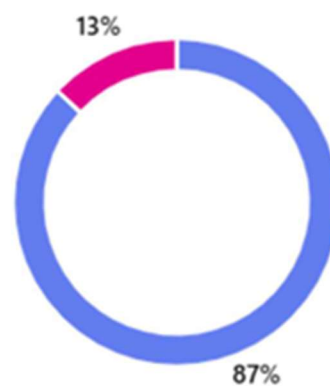
7. 発信力、コミュニケーション力（自分の意見をわかりやすく伝える力）

● 身についている	21
● どちらとも言えない	23
● 身についていない	2



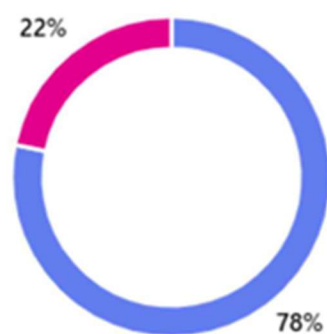
8. 傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）

● 身についている	40
● どちらとも言えない	6
● 身についていない	0



9. 柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）

● 身についている	36
● どちらとも言えない	10
● 身についていない	0



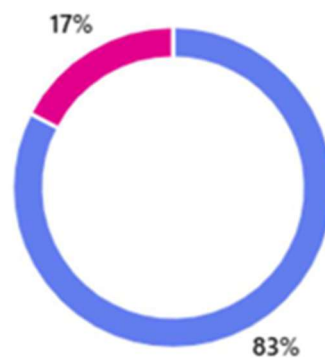
10. 状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）

● 身についている	24
● どちらとも言えない	21
● 身についていない	1



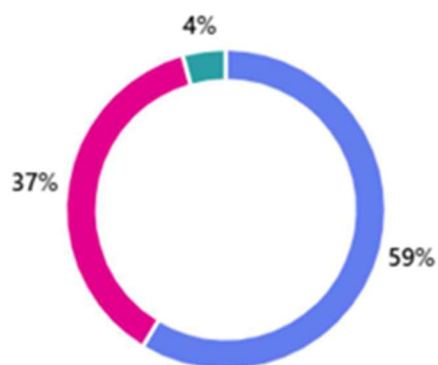
11. 規律性（社会のルールや人との約束を守る力）

● 身につけている	38
● どちらとも言えない	8
● 身につけていない	0



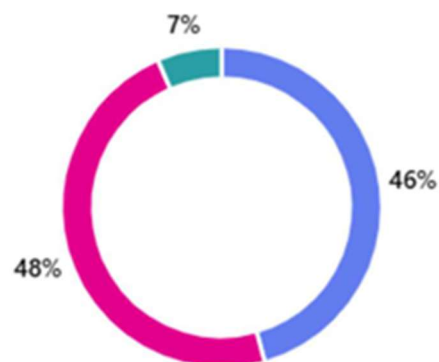
12. ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力）

● 身につけている	27
● どちらとも言えない	17
● 身につけていない	2

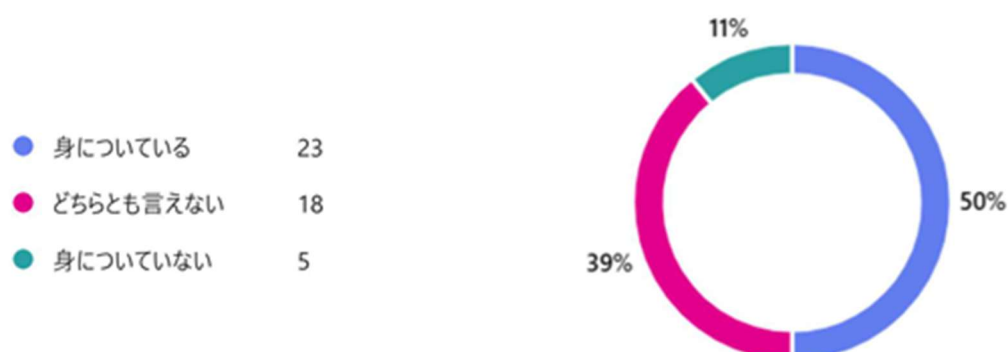


13. 専門的知識力（自らの専門分野の基本的知識を身に付け、問題解決のために応用できる力）

● 身につけている	21
● どちらとも言えない	22
● 身につけていない	3



14. チームワーク、リーダーシップ（他者と協調・協働できる。他者に方向性を示し目標実現のため動員できる）



15. 一般的に、今後、求める人材像から見た大学教育に期待するものとして重要な資質は何だと思われますか。
（任意）

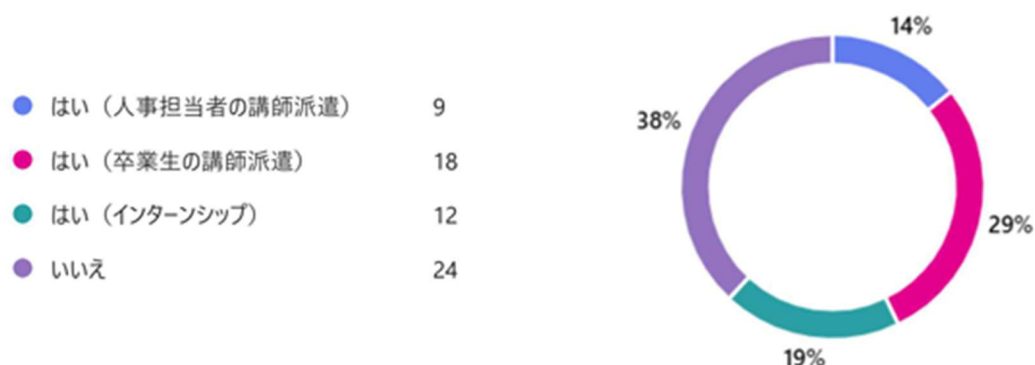
24
応答

最新の回答
"コミュニケーション力の育成、諦めずに根気強く立ち向かう力"
...

7回答者 (29%) この質問に コミュニケーション回答しました。

二項対立を乗り越える人間的なバランス
向かう力 知識
関係調整力 人材
自律心 育成
タスクため
コミュニケーション
実さ 個々人
積極的に分からないことは
社会人
優先順位をつける力
協調性
人間力 コミュニケーション力
問題
確実な仕事

16. 社会に必要とされる人材育成のために、本学ではインターンシップや、各種講座における人事担当者や卒業生の講話などを依頼しておりますが、そのような要請があった場合にお引き受けくださいますか。（複数可）



17. ※設問16でお引き受けできるとご回答の場合は 事業所名、部署名、連絡先までお願いします。

17
応答

最新の回答

...

※回答は個人が特定されるため非公表

18. 最後に、本学の卒業生や学生と接してのご感想等を率直に記述してください。(任意)

23
応答

最新の回答

"物事に対して主体的に考える"

...

5回答者 (22%) この質問に 大学回答しました。

業務
大学
積極性
調理員 これ
頼もしい存在
コミュニケーション力
物事
2年目
日々
課題
病院
頃
ため
卒業
助言
知識
4月
事業所異動
委託会社

2 今年度同時期に実施した「卒業生アンケート」との比較

表 - 2 卒業生アンケートとの比較（全学科合計：数字は回答数に対する割合）

次の表に掲げる能力・資質は経済産業省が提唱する「社会人基礎力」に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を挙げたものです。本学卒業生の現況に照らして、評価項目の

①身についている②どちらともいえない③身についていない いずれかに○をつけて下さい。

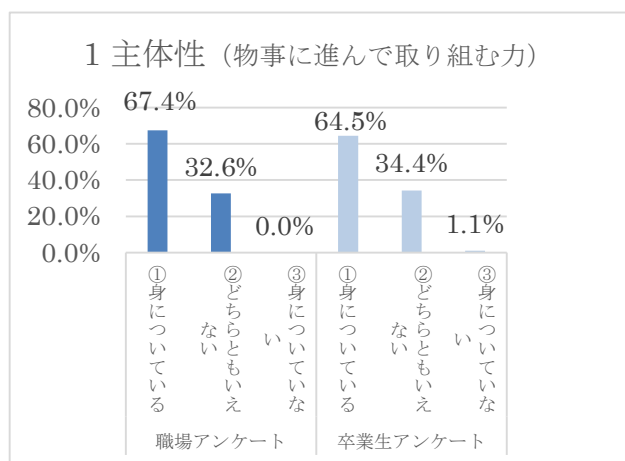
※○数字にダッシュ(´)は卒業生の回答

		割合					
		評価項目（職場）			評価項目（卒業生）		
		①	②	③	①´	②´	③´
1	主体性（物事に進んで取り組む力）	67.4%	32.6%	0.0%	64.5%	34.4%	1.1%
2	働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力）	52.2%	41.3%	6.5%	40.9%	54.8%	4.3%
3	実行力（目的を設定し確実に行動する力）	67.4%	30.4%	2.2%	69.9%	29.0%	1.1%
4	課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）	47.8%	45.7%	6.5%	55.9%	43.0%	1.1%
5	計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）	54.3%	41.3%	4.3%	60.2%	33.3%	6.5%
6	創造力（新しい価値を生み出す力）	21.7%	67.4%	10.9%	36.6%	57.0%	6.5%
7	発信力、コミュニケーション力（自分の意見を分かりやすく伝える力）	45.7%	50.0%	4.3%	51.6%	40.9%	7.5%
8	傾聴力（相手の意見を丁寧に聴く力）	87.0%	13.0%	0.0%	92.5%	7.5%	0.0%
9	柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）	78.3%	21.7%	0.0%	84.9%	14.0%	1.1%
10	状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）	52.2%	45.7%	2.2%	79.6%	19.4%	1.1%
11	規律性（社会のルールや人との約束を守る力）	82.6%	17.4%	0.0%	91.4%	8.6%	0.0%
12	ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力）	58.7%	37.0%	4.3%	50.5%	40.9%	8.6%
13	専門的知識力（自らの専門分野の基本的知識を身に付け、問題解決のために応用できる力）	45.7%	47.8%	6.5%	46.2%	49.5%	4.3%
14	チームワーク、リーダーシップ（他社と協調・協働できる。他社に方向性を示し目標実現のため動員できる）	50.0%	39.1%	10.9%	51.6%	41.9%	6.5%

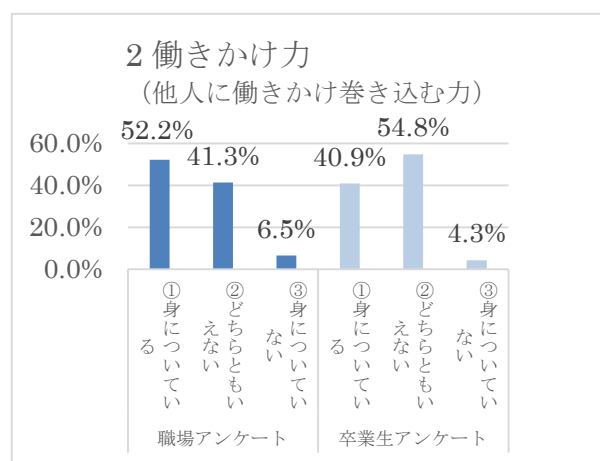
※赤字は「身についている」と回答されるもの上位3つ

※青字は「身についていない」と回答されるもの上位3つ

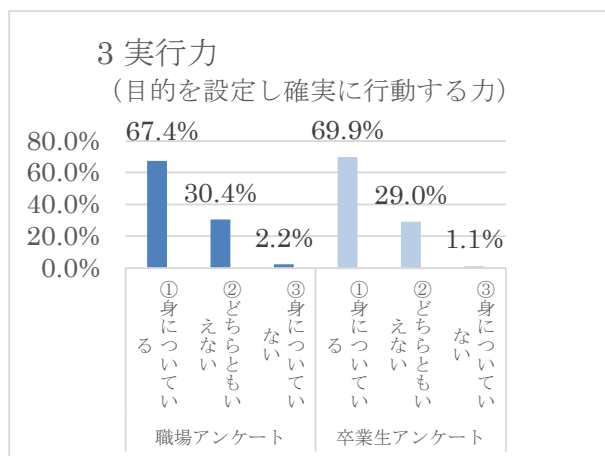
表 - 3 卒業生アンケートとの比較（評価項目ごとの比較）



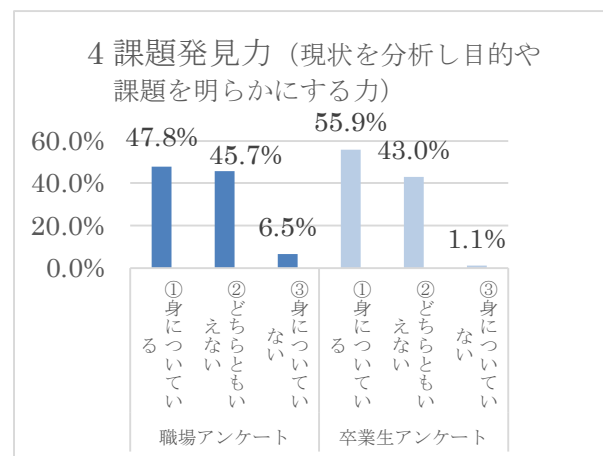
双方とも同様の評価である。



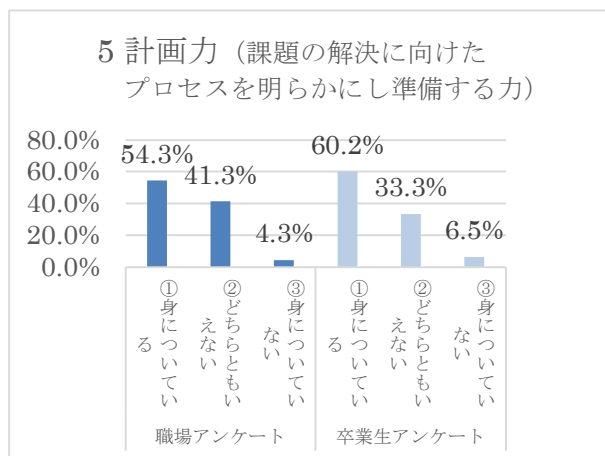
職場の評価に対し、卒業生は「身についている」の評価が10%程低く他の評価項目と比較しても差が一番大きい。



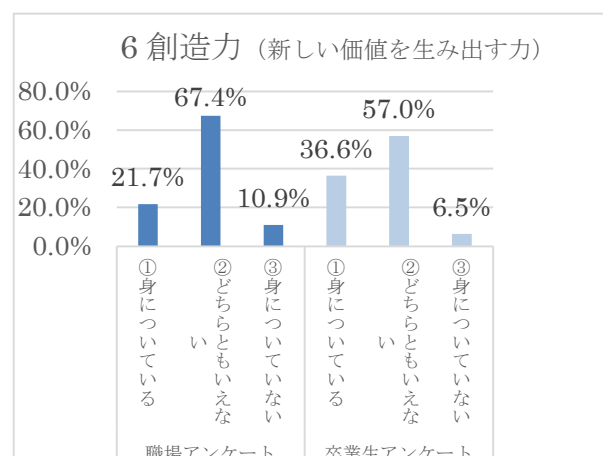
双方とも同様の評価である。



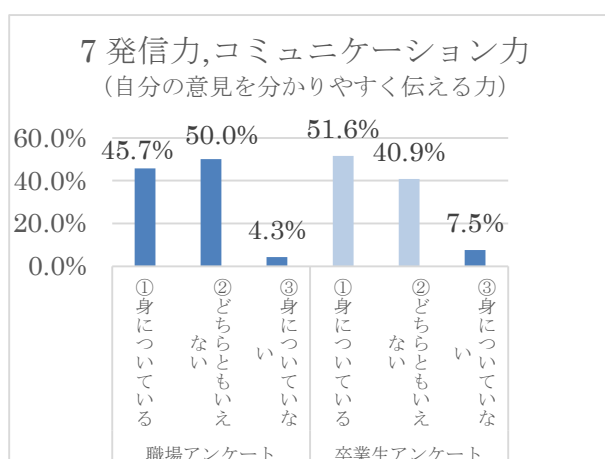
双方とも同様の評価である。



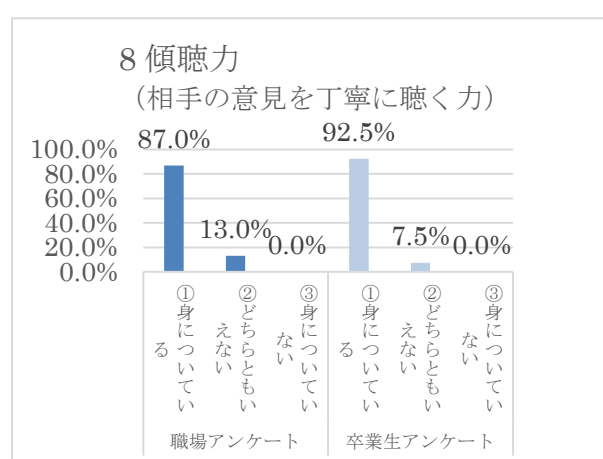
双方とも同様の評価である。



職場の評価に対し、卒業生は「身についている」の評価が 15%程高いが、職場の評価で「身についていない」の項目が一番高い。

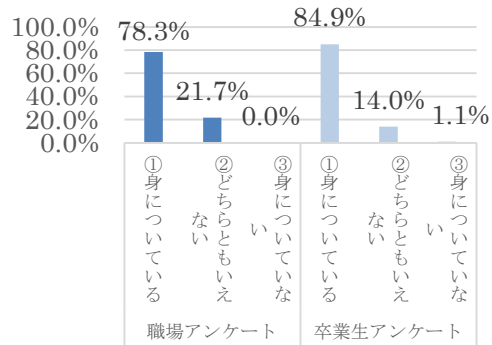


職場の評価に対し、卒業生は「身についている」の評価が 6%程高い。「どちらともいえない」は 10%程低い、職場の評価のほうが高い。



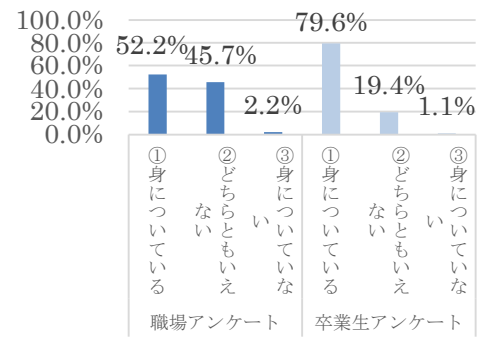
双方とも「身についている」の評価が一番高い。

9 柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）



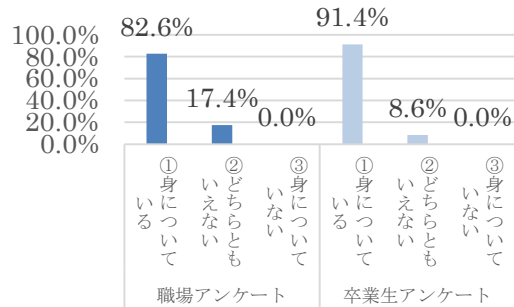
双方とも同様の評価である。

10 状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）



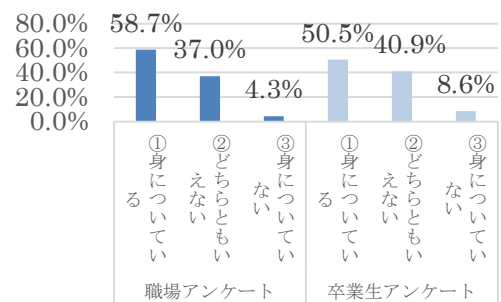
双方とも同様の評価である。

11 規律性（社会のルールや人との約束を守る力）



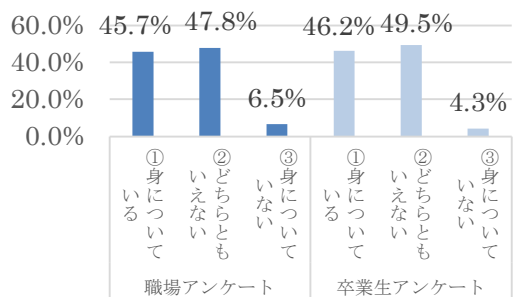
双方とも同様の評価であり、「身についていない」の評価は 0%である。

12 ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力）



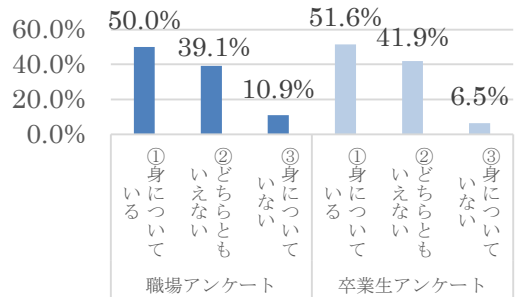
双方とも同様の評価である。

13 専門的知識力（自らの専門分野の基本的知識を身に付け、問題解決のために応用できる力）



双方とも同様の評価である。

14 チームワーク、リーダーシップ（他者と協調・協働できる。他者に方向性を示し目標実現のため動員できる）



双方とも同様の評価であるが、職場の評価で「身についていない」の項目が一番高い。

テキストで寄せられた回答のうち主なもの

問 15 一般的に、今後、求める人材像から見た大学教育に期待するものとして重要な資質は何だと思われますか。

委員会資料、学内向けには原文そのまま

【教育・心理】

- ・タスクの優先順位をつける力
- ・二項対立を乗り越える人間的なバランス
- ・積極的に分からないことは聞いて理解することや協調性であると思います。

【看護】

- ・専門性を持てる人材
- ・どのような医療従事者になりたいかイメージできるような支援、多様な働き方の中でどのような働き方をしていくか考えてもらうこと。
- ・メタ認知能力、自発的行動につながる思考力、前向きな学習意欲、誠実さと真摯さ
- ・社会人基礎力とストレスコーピング、コミュニケーション能力
- ・社会人、医療人として患者さん優先する気持ち(時間を気にせず)

【健康栄養】

- ・報告連絡相談、コミュニケーション
- ・自律心と、関係調整力
- ・病院は多職種と関わるため、共感性、協調性のある人間力、コミュニケーション力は重要と感じます。
- ・継続して学び続ける姿勢や知識や体験を実践する力

【学科不明】

- ・個々人の問題となると思いますが、焦らずゆっくり確実な仕事ができるよう、電話対応マナーや社会人としてのビジネスマナーの基礎習得。時間の使い方（タイムスケジュール等）を自己にて確立できる力。
大学では、時間はゆっくりあると思いますが、社会に出たら決まった時間の中で、優先順位を決め、時間内の仕事を求められるため
- ・自ら考え行動できる人材
- ・専門知識を柔軟に対応すること
- ・信頼性・誠実さ・コミュニケーション能力が重要だと考えております。
- ・多少のことに必要以上に落ち込んだら、簡単にやめたりしない力

問 18 最後に、本学の卒業生や学生と接してのご感想等を率直に記述してください。

【教育・心理】

- ・ともに切磋琢磨できる学生や困った時に助けてくれる先生方のおかげで、無事卒業することが出来、今の仕事につけていると感じる。
- ・すばらしい人材でした。素直さ、コミュニケーション力、周りを見て進んで動こうとする態度。ご両親はもちろんのこと、大学でのご指導もきっと素晴らしかったのだと思います。本当にありがとうございました。
- ・真面目で積極性もあり、子どもたちにも真摯に向き合って保育をしています。これからさらに経験を重ね、保育力を高めてもらいたいと思います。

【看 護】

- ・素直で、学びたい気持ちがあります。
- ・得意な分野、経験済みなな事象には対応し積極的に行動するが、新しい事に消極的な面があり失敗も恐れずにチャレンジする気持ちを持たせてほしい。
- ・当病棟では貴校からの卒業生を 10 年以上ぶりに受け入れました。みんな向上心があり日々努力しており 2 年目になり更に頼もしい存在です。現役生にもぜひその姿を見て頂きたいですし、毎年後輩が入ってくればモチベーションにもつながると思います。
- ・積極性もあり、患者へ寄り添うコミュニケーションができています。しかし、状況把握と整理に時間を要するため多重課題への対応に課題があります。指導・助言を受けながら、成長することができていると感じています。
- ・入職する際から、救急医療に関心を持ち日々努力を続けています。同期の職員の中でもリーダーシップを図り、声をかける姿を目にし、頼もしい存在です。先輩看護師の助言をもらいながら、課題を確実に解決できるよう取り組む姿も見られています。
- ・純粋な心を持ち、大学病院での実践及び活躍に期待を膨らませて入職されたかと思います。がそれ以前に環境の変化や言葉の違いに戸惑い、周囲のスタッフの言葉のニュアンスでその都度都度に傷ついているようです。また高度な医療技師や知識の習得にかなり時間がかかっておりますが、努力を惜しまず頑張っています。ただその土地の言葉や方言ぐらひは、当人は覚悟を持って受け入れ、個々で向き合って慣れて欲しいと思います。

【健康栄養】

- ・わりと控えめな性格の方ですが、穏やかに新しい調理員の方へアドバイスをしたり、日々の業務に精一杯取り組まれていました。
委託会社での事業所異動があり、業務にも慣れた頃の異動だったので残念ではありますが、4 月から別の病院で頑張っているかと思っています。
- ・性格良く真面目で仕事に励んでくれています。しかしコミュニケーション力、積極性や自己研鑽力に乏しく、料理への興味が薄いように感じます。今後それらは少しずつ身につけてほしいと思っています。これからの学生さんには、様々な世代の人との関わりや経験を積み、臨床の知識だけでなく、食への関心興味を広げてほしいと望みます。
- ・明朗、誠実

- ・素晴らしい人材です。本当に感謝しております。

【学科不明】

- ・とても真面目で素直な子だと思います。頑張ろうと気負いすぎて、仕事がかまうまわっていないこともあるので、ゆっくり焦らず、確実な仕事を目指してもらっています。
- ・勉強や趣味などができる、たっぷり時間があるのは、大学生活ならではの、後悔しないような生活を送って欲しい。
- ・大学時代は現在の職種とは全く別のジャンルを専攻されていたので、大変なことばかりだったと思いますが、頑張っていると思います。2年目となり要求されるレベルが上がりますが、引き続き頑張ってもらいたいと思います。
- ・たいへん真面目で一生懸命の姿を見て、学ぶところがたくさんあります。有難いです。
- ・良い子ですが、業界に必要な資格試験に昨年度不合格だったのは残念な結果でした。今年は合格してくれると思います。
- ・大学で学んだことをあらゆる場面で生かそうとする姿勢が見られます。大学時代のご指導の賜物だと思います。今後も、将来を担う人材の育成に努めていただければと思います。
- ・とても素直で仕事に対して前向きに取り組んでいます。

考 察

今回のアンケート結果（P9 参照）より、本学の卒業生の職場における評価される資質は、順に「傾聴力」87.0%、「規律性」82.6%、「柔軟性」78.3%であった。反対に「身についていない」と回答があったのは少数ではあるが、「創造力」、「チームワーク、リーダーシップ」とともに10.9%、「働きかける力」、「課題発見力」、「専門的知識力」とともに6.5%と、「発信力、コミュニケーション力」、「ストレスコントロール力」とともに4.3%である。自由表記の回答にもあるが、おおむね卒業生は企業からは良い評価を得ていると捉える。

職場、卒業生の評価は双方とも「身に付いている」の評価が第一位～第三位まで同等の順位であり、9割近くの評価を得ている。令和5年度の卒業生は職場で評価されていると言ってもよいと捉え考える。

また、令和5年度卒業生アンケート（P9～P11 参照）と比較して「身に付いている」として評価を得たものの中で卒業生の評価を大幅に上回る評価を得たものは、順に「働きかける力」、「ストレスコントロール力」、「主体性」であり、卒業生が実感しているよりも評価されていることがわかる。

反対に「身についていない」と回答のあったもののうち、職場よりも卒業生の回答が上回ったのは、「ストレスコントロール力」、「発信力、コミュニケーション力」、「計画力」であった。

しかしながら、今回のアンケート実施の目的でもある今後の大学教育の中での改善点として、下記の①職場の評価が低いもの、②卒業生の評価が低いものは向上を目指したい。そこで、円グラフ（P2～P8 参照）でも容易に確認できるが、「身についていない」、「どちらとも言えない」の回答の割合を合計し値が高いものを以下に挙げる。

①職場の評価が低いもの上位 1～3 位

- 1 創造力・・・・・・・・・・78.3%
- 2 発信力、コミュニケーション力・・・・54.3%
- 2 専門的知識力・・・・・・・・・・54.3%
- 3 チームワーク、リーダーシップ・・・・50.0%

②卒業生の評価が低いもの上位 1～3 位

- 1 創造力・・・・・・・・・・63.4%
- 2 専門的知識力・・・・・・・・・・53.8%
- 3 働きかける力・・・・・・・・・・59.1%

上記①と②で 1 位に挙げた「創造力」は明らかに職場、卒業生ともに課題とするところであるとわかる。次に①で 2 位に挙げた「発信力、コミュニケーション力」、「専門的知識力」に加え、3 位の「チームワーク、リーダーシップ」については、入職後一年半と間もない卒業生にとっては経験のなさからくるものであらうと推察するが、即戦力として期待されている要素であるので、大学教育の中で獲得できるよう改善が必要である。

また、②卒業生の評価で 3 位に挙げた「働きかける力」は他人を巻き込み業務を遂行する力でもあるので、他者と協働する機会を授業等の中に盛り込んでいくことで、すでに実施されている講座の見直し等も有効ではないかと考える。卒業生が課題としてとらえている現状から内容を検討しながら進路ガイダンスを実施する必要性があることがわかる。そうすることで卒業生が自信をもって新しい社会という場で仕事に向き合えるようにしたい。

昨年実施した職場アンケートでは、本学の学生に欠けているものとして「創造力」、「課題発見力」、「計画力」、「働きかける力」、「専門的知識力」が上位に挙げた。今回の結果と比較すると、「計画力」54.3%、「働きかける力」52.2%の割合で「身についている」と評価されている。これまでの委員会等を通して学内にその必要性が浸透し、日々の授業等の中で改善が進んだ結果と捉える。一方で「創造力」21.7%、「課題発見力」47.8%「専門的知識力」45.7%については、今後も課題として取り組まなければならない。

これらの社会人基礎力は、いずれも実習やグループワーク等、実践レベルで、鍛えられるものであると考える。また、学科での専門教育とは別に、進路支援計画で実施するインターンシップ、進路ガイダンス、キャリアセミナーの中でも、改善を加えていきたい。

まとめ

今回の「職場アンケート」は、新型コロナウイルス感染症の流行の収束後、物価高騰、人手不足が問題視されるなか実施した。

常に変化し続ける社会情勢、AIの労働力への転換、DX化が進む中で、AIにとって代われない人としてできることの問いが就職環境では取り沙汰されている。今回の調査結果において、卒業生の働く職場では「傾聴力」が評価されていることが分かる。人を相手にする専門性を学んだ人材として相手の気持ちに寄り添う、人のためにできることを実践している結果であり、それぞれの学科で必要な教育がなされている証ではないだろうか。

今後は、「創造力」、「発信力、コミュニケーション力」、「専門的知識力」、「チームワーク、リーダーシップ」に加え、卒業生が身につけていないと感じている「働きかける力」、「主体性」などの社会人力向上を念頭においた教育を行うことが必要であると考え。卒業生が自信をもって職業生活初期を乗り越えられるようキャリア教育を講じたい。

そのような中で、本学の建学の精神にも掲げる「聖母マリアのように神様にも人にも喜ばれる人間の育成」、また、ディプロマポリシーに掲げる卒業生を送り出すため、今後もこのアンケートを継続して実施し、教育内容の見直し、改善を行い、時代に合った教育を実施していく必要がある。

参照：鹿児島純心大学のディプロマポリシー ホームページより

- ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

鹿児島純心大学は、「カトリック精神に基づく人格教育を行い、有為な人を育成する」という理念のもと、その教育の実現を目指し、以下に掲げる資質・能力を備え、卒業要件を満たす学生に学士の学位を授与します。

1. 相手の気持ちを思いやり、人との違いや異なる価値観を受容できる豊かな人間性と教養を備えている。
2. 専門分野の知識と技能を磨き、地球市民として社会に貢献する高い意識と広い視野を持っている。
3. 多様性社会の中で自他ともに尊重し、命の尊さを認識し行動できる。
4. 主体的に考え、社会において責任ある行動のできる自律力を備えている。



令和7年度職場アンケート ト：令和5年度卒業生就業先

2025年5月吉日

本学在学生の進路支援を充実させるためのアンケート
へご協力をお願いいたします。(入力時間：約3分)
※8月22日締切

経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき社会人として必要と思われる能力・資質について

評価項目ごとに本学卒業生が備わっていると思う程度を

①身についている ②どちらとも言えない ③身についていない でご回答ください。

1. 主体性（物事に進んで取り組む力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

2. 働きかける力（他人に働きかけ巻き込む力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

3. 実行力（目的を設定し確実に行動する力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

4. 課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

5. 計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

6. 創造力（新しい価値を生み出す力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

7. 発信力、コミュニケーション力（自分の意見をわかりやすく伝える力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

8. 傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

9. 柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

10. 状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

11. 規律性（社会のルールや人との約束を守る力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

12. ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

13. 専門的知識力（自らの専門分野の基本的知識を身に付け、問題解決のために応用できる力）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

14. チームワーク、リーダーシップ（他者と協調・協働できる。他者に方向性を示し目標実現のため動員できる）＊

- ☐ 身についている
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 身についていない

15. 一般的に、今後、求める人材像から見た大学教育に期待するものとして重要な資質は何だと思われますか。（任意）

回答を入力してください

16. 社会に必要とされる人材育成のために、本学ではインターンシップや、各種講座における人事担当者や卒業生の講話などを依頼しておりますが、そのような要請があった場合にお引き受けくださいますか。（複数可）＊

- ☐ はい（人事担当者の講師派遣）
- ☐ はい（卒業生の講師派遣）
- ☐ はい（インターンシップ）
- ☐ いいえ

17. ※設問16でお引き受けできるとご回答の場合は 事業所名、部署名、連絡先までお願いします。

回答を入力してください

18. 最後に、本学の卒業生や学生と接してのご感想等を率直に記述してください。（任意）

回答を入力してください